



# 寺報

2013年(平成25年)

No. 216

# 11月号

Zenkyo-ji monthly  
Communications Paper  
En [えん]

# 縁



善教寺「石」シリーズ その10

『本堂裏、講師部屋前の手水鉢』

## 楽しい仏教用語

その28

### 【講堂（こうどう）】

現在、講堂というと、誰でも思い出すのが学校の講堂です。入学式や卒業式をはじめ、いろいろな行事が行われるところです。

しかし、講堂は本来、お寺の建物なのです。よくお寺の建物を七堂伽藍（がらん）といいますが、これは金堂、講堂、塔、鐘楼、経蔵、僧坊、食堂の七つのお堂をいいます。

講堂はその中の一つで、説法をするところ、仏法の講義をするお堂のことです、お経にも釈尊が講堂で仏法を説かれたことがしばしば

学校を思い出すのは、講義をする場所がお寺から学校に変わったためなのです。

### 【後生（ごしょう）】

許しを請うたり、おりいつ事を頼んだりするとき、「後生だから」といつたり、「つまらん物を後生大事にしている」など、後生は日常語となっています。

仏教では後生は、前生（ぜんじょう）。今生（こんじょう）と対応して、来生、あの世、死後の世の意味です。また、極楽に生まれかわり安樂を得ることも後生といいます。

白骨のご文書に「たれの人も、はやく後生の一大事を心にかけて」とあるのがそれです。

極楽に生まれるため、この世で徳行を積むこと、功德としての慈悲深い行いという意味もあるそうですから、「後生だから」は「お慈悲と思つて」との意味になるのでしょうか。

(辻本敬順氏「仏教用語豆辞典」参照)

### 住職レター

護寺会報恩講を迎える時期は来年の法要日程パンフレットの作成と、報恩講参りで毎日慌ただしい日々です。法要日程パンフレットの、「あいさつ欄に、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）について書かせてもらいました。

善教寺のホームページは、平成八年頃に開設しておりまして、もう既に十七年になります。他の寺院に先駆けてのホームページでしたから、その当時は、メディアにも取り上げて頂いたり、中国新聞の記者から原稿の依頼があつたりしました。

その後、バーチャル寺院と称して、善教寺ホームページ上に仮想寺院を作り、「日々の縁」という日記を公開。ブログがまだ無い時代でした。この頃から、世間ではネット依存の問題が起きはじめ、インターネットの弊害についても論じられるようになります。

最近、いろいろな場所で、スマートホン片手に、何やらインターネットに集中している方々をよく見かけます。おそらく、メールかSNS（フェシヤル・ネットワーキング・サービス）にアクセスしているのでしょう。

これでは、ますます人間関係が希薄になっていくような気がします。

法要日程パンフレットの、「あいさつ欄にも書きましたが、近い将来、SNS（インターネット）上で法事を行うなんですが、これが本当にくるかも。

実際にお会いして、言葉を交わしてのコミュニケーション、このような縁を大切に



童謡詩人 金子みすゞさんの墓前にて